

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
固澁剂 澁精止遺剂 4		
しゆくせんがん 縮泉丸	温腎散寒・縮尿止遺	烏薬・益智仁各等分 粉末を酒煎山薬末で丸にし、1日1~2回6gずつ服用する。 約6gずつを水煎し服用してもよい。
婦人良方	<p><主治> 下元虚冷、膀胱失約 頻尿あるいは小児の遺尿</p> <p><病機> 腎気が不足し膀胱の虚冷が生じて、水液を約束することが出来なくなり尿が頻数になったり、遺尿が生じる。</p> <p><方意> 温腎散寒して縮尿止遺する。 主薬は益智仁で温腎納気、暖脾摂津、固澁縮尿に働き、烏薬は下焦の虚冷を温散し膀胱気化を助けて尿を固澁する。更に補助として、健脾補腎と固澁に働く山薬を用いる。全体で温腎して燥でなく、下元虚冷を除き腎気を回復させて、膀胱の約束を行わせる。</p> <p><参考> 薬力が弱いので、症状が強い場合には菟絲子・五味子・肉苁蓉などを加える必要がある。</p>	